

8 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔注意事項〕

- 1 答えは、全て解答用紙に記入すること。
- 2 解答用紙は、マーク式解答用紙と記述式解答用紙の二種類がある。
- 3 マーク式問題の答えはマーク式解答用紙に、記述式問題の答えは記述式解答用紙に記入すること。
- 4 マーク式問題の答えは、問題で示された解答番号の欄にある数字をマークすること。例えば、解答番号1と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のようにマーク式解答用紙の解答番号1の解答欄③にマークすること。

(例)

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤

- 一 次の文章を読んで、あとの問一～九に答えなさい。(問一～五はマーク式問題、問六～九は記述式問題です。)なお、設問の關係で、本文の段落に 1 ～ 21 の番号を付しています。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

8 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

8 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(外山滋比古 「日本語の論理」 による。)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一

a 親疎 とありますが、これと同じ熟語の構成であるものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号1の解答欄にマークしなさい。

- ① 雷鳴 ② 是非 ③ 洗顔 ④ 貴重

問二

b 等閑に付された とありますが、これの本文における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号2の解答欄にマークしなさい。

- ① 物事を軽視しておろそかに扱う
② 物事を注意深く処理する
③ 物事の道理や筋道を一貫させる
④ 物事の仕組みや形を込み入らせない

問三

c 日本語が論理的でないように考えられるのは、ヨーロッパ語の線的論理の尺度によって日本語をおしはかるからであるとありますが、筆者がこのように述べたのはなぜだと考えられますか。その説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号3の解答欄にマークしなさい。

- ① ヨーロッパ語の論理は、語義の範囲が限定されるものとなっていることから、日本語の連想領域が大きくなっている論理は、日常の言語活動におけるインフォーマルなものと判断されるから。
② ヨーロッパ語の論理は、受け手が筋道から脱落しないようがっちりとした構成の表現となっていることから、日本語の省略の多い言語的創造をとまなう論理は、重々しさに欠けたものと評価されるから。
③ ヨーロッパ語の論理は、対立する受け手を前提としていることから、日本語の受け手の連帯感を念頭に置いた論理は、受け手の誤解を招き伝達が成立しないと評価されるから。
④ ヨーロッパ語の論理は、筋を外した解釈が生じないよう配慮されたものとなっていることから、日本語の解釈の余地の大きい論理は、筋道が明確でないと判断されるから。

問四

x に当てはまる最も適切な語を、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号4の解答欄にマークしなさい。

- ① しかし ② したがって ③ さらに ④ あるいは

問五

この文章の構成に関する説明として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号5の解答欄にマークしなさい。

- ① ①・②段落は、次元の異なる三つの論理の性格について説明し、③段落は、それらのうちの二つの論理を考察することが、明治以来の日本の知識人がいだいてきた論理コンプレックスを克服する契機になることを示唆している。
② ④段落から⑧段落は、線的論理と点的論理が生まれる背景と構造を考察し、⑨段落は、その考察に基づき日本語の性格と論理性を説明し、⑩段落は、その論理性は点的論理の視点を導入すれば説明が可能であることを述べている。
③ ⑪段落から⑬段落は、点的論理における線の論理の伏在が、意味的連想による統合作用を可能にしていることを説明しているが、⑭段落は、その線の論理と音声的連想による統合作用とは無関係であるという仮説を提示している。
④ ⑮段落から⑱段落は、島国形式言語と大陸形式言語の本質を比喻を用いて表現し、⑲・⑳段落は、双方の言語に類似的の傾向が認められることを指摘し、㉑段落は、その傾向の実例としての外国語と日本語の表現を提示している。

8 高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問六 A その代表的な例とありますが、それはどのようなものの代表的な例であると筆者は述べていますか。八十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 B 海綿状に発達した言語においては、直接的でつよい表現を与えることはむしろ効果的でないとありますが、筆者がこのように述べたのはなぜですか。本文中における筆者の主張を踏まえて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問八 C 明晰な表現のあらわす論理が単線であるとするならば、あいまいな表現で伝える論理は複線で、また、いたるところで点線状になっていると考えてよいとありますが、これに先立つ10段落で筆者は、俳句の表現もいわゆる論理、線状の論理から理解しにくいものであるが、点的論理の視点からすればきわめて興味あるものになると述べています。これらの筆者の主張を踏まえて、「あいまいな表現で伝える論理」とはどのようなものであるかを明らかにして、次の【資料】の俳句における「あいまいな表現で伝える論理」を、【資料】から根拠となる叙述を挙げて、具体的に説明しなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

【資料】

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(大岡信 「名句 歌ごよみ「秋」」による。)

問九 ㊦ ㊧ について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みを平仮名で、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

二 次の文章は、都から離れた常陸の国の国司となった父親が、娘(作者)を都に残し任地へ旅立つ場面です。これを読んで、あとの問一〜七に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五〜七は記述式問題です。)

親となりなば、いみじうやむごとなくわが身もなり a むなど、ただゆくへなきことをうち思ひすぐすに、親からうじて、はるかに遠きあづまになりて、「年ごろは、A いつしか思ふやうに近き所になりたらば、まづ胸あくばかりかしづきたてて、I 率て下りて、海山のけしきも見せ、それをばさるものにて、わが身よりもたかうもてなしかしづきてみむとこそ思ひつれ。われも人も宿世のつたなかりければ、ありありてかくはるかなる国になりたり。幼かりし時、あづまの国に率て下りてだに、心地もいささかあしければ、これをや、この国に見すて、まどはむとすらむと思ふ。ひとの国のおそろしきにつけても、A わが身ひとつならば、安らかならましを、ところせうひき具して、いはまほしきこともえいはず、せまほしきこともえせずなどあるが、わびしうもあるかなと心をくだしに、今はまいておとなになりたるを、率て下りて、わが命も知らず、京のうちにてさすらへむは例のこと、あづまの国、田舎人になりてまどはむ、いみじかる b べし。京とても、たのもしう迎へとりてむと思ふ類、親族もなし。さりて、わづかになりたる国を辞し申すべきにもあらねば、京にとどめて、永き別れにてやみぬべきなり。京にも、さるべきさまにもてなして、とどめむとは思ひよることにもあらず」と、夜屋嘆かるるを聞く心地、花紅葉の思ひもみな忘れて悲しく、いみじく思ひ嘆かるれど、いかがはせむ。

七月十三日に下る。五日かねては、見むもなかなかななければ、内にも入らず。まいて、その日は立ち騒ぎて、時なりぬれば、今はとて簾を引き上げて、うち見あはせて涙をほろほろと落して、やがて出でぬるを見送る心地、目もくれまどひてやがて臥されぬるに、とまるをのこの、送りして帰るに、懷紙に、

思ふこと心になふ身なりせば秋のわかれをふかく知らまし

とばかり書かれたるをも、え見やられず。事よろしきときこそ腰折れかかりたることも思ひつづけけれ、ともかくもいふべきかたもおぼえ c ままに、

かけてこそ思はざりしかこの世にてしばしも君にわかるべしとは
とや書かれにけむ。

いとど人めも見えず、さびしく心ぼそくうちながめつつ、いづこばかりと、明け暮れ X 思ひやる。道のほども知りにしかば、はるかに恋しく心ぼそきことかぎりなし。明くるより暮るるまで、東の山ぎはをながめて過ぐす。

八月ばかりに太秦にこもるに、一条より詣づる道に、男車、二つばかり引き立てて、ものへ行くにもろともに来べき人待つるべし。過ぎて行くに、隨身だつ者をおこせて、

花見に行くと君を見るかな

といは d せば、かかるほどのことは、いらへぬも便なしなどあれば、

千ぐさなる心ならひに秋の野の

とばかりいはせて行き過ぎぬ。七日さぶらふほども、ただあづま路のみ思ひやられて、よしなし事からうじてはなれて、「平らかにあひ見せたまへ」と申すは、B 仏もあはれと聞き入れさせたまひけむかし。

冬になりて、日ぐらし雨降りくらしいたる夜、雲かへる風はげしううち吹きて、空はれて月いみじう明うなりて、軒近き萩のいみじく風に吹かれて、砕けまどふがいとあはれにて、

秋をいかに思ひいつらむ冬深み嵐にまどふ萩の枯葉は
あづまより人来たり。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち7)

受験番号	
氏名	

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

「神拝といふわざして国のうちありきしに、水をかしく流れたる野の、はるはるとあるに、木むらのある、をかきし所かな、見せ
 でとまふ思ひ出でて、『こはいつことかいふ』と問へば、『子しのびの森となむ申す』と答へたりしが、身によそへられて Y いみ
じく 悲 し かり しかば、馬よりおりて、そこに一時なむながめられし、

とどめおきてわがこどものや思ひけむ見るにかなしき子しのびの森

となむおぼえし」

とあるを見る心地、いへはさらなり。返事に、

子しのびを聞くにつけてもとどめ置きしちちぶの山のつらきあづま路

(菅原孝標女 「更級日記」 による。)

問一 a な、 b べし、 c ぬ、 d せとありますが、それぞれの助動詞の本文における意味の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号は6の解答欄にマークしなさい。

- | | | | |
|--------|------|------|------|
| ① a 完了 | b 推量 | c 完了 | d 使役 |
| ② a 強意 | b 意志 | c 打消 | d 尊敬 |
| ③ a 強意 | b 推量 | c 打消 | d 使役 |
| ④ a 完了 | b 意志 | c 完了 | d 尊敬 |

問二 ア いつか とありますが、これの本文における意味として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号は7の解答欄にマークしなさい。

- ① すでに ② ようやく ③ いつでも ④ 早く

問三 イ 率 の活用の種類として適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号は8の解答欄にマークしなさい。

- ① ワ行上二段活用 ② ア行上二段活用 ③ ワ行上二段活用 ④ ア行上二段活用

問四 ウ 子しのびを聞くにつけてもとどめ置きしちちぶの山のつらきあづま路 とありますが、この和歌に用いられている修辭として適切なものを、次の①～⑤の中から二つ選び、その番号を答えなさい。解答番号は9の解答欄にマークしなさい(この解答欄では二つマークしてよい)。

- ① 枕詞 ② 掛詞 ③ 序詞 ④ 折句 ⑤ 体言止め

問五 A わが身ひとつならば、安らがならましを、 B 仏もあはれと聞き入れさせたまひけむかし の現代語訳をそれぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 X 思ひやる とありますが、これはどのようなことを思っているのですか。本文の内容に触れて、三十字以内で書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問七 Y いみじく悲しかりしかば とありますが、父親がこのような心情になったのはなぜですか。本文の内容に触れて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち8)

受験番号	
氏名	

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

〔三〕 次の文章を読んで、あとの問一〜六に答えなさい。(問一〜四はマーク式問題、問五・六は記述式問題です。) なお、設問の關係で返り点・送り仮名・符号を一部省略しています。

楚絶^レッ^ニ齊^ニ。齊^ニ挙^レグ^テ兵ヲ伐^レッ^ニ楚ヲ。陳軫謂^ニッ^テ楚王^一曰ク、「王不^レト如下^ニ以^レテ地ヲ東ハ解^ニキ於^ニ齊^一ニ、西ハ講^中ゼン^ニハ於^ニ秦^上ニ。」王使^ニム陳軫ヲシテ之^レカ秦^ニ。秦王謂^レッ^テ軫^ニ曰ク、「子ハ秦人也。寡人ト与^レハ子故アリ也。寡人^注不^レ佞^ニシテ、不^レ能^ハハ親^ニラスルコト国事^一ヲ也。故^ニ子棄^ニテ寡人^一ヲ事^ニヘタリ楚王^一ニ。今齊楚相伐ッ。或イハ謂^ニヒ救^レフヲ之^レヲ便^一ナリト、或イハ謂^ニフ救^レフヲ之^レヲ不便^一ナリト。子独リ不^レル可^下カラ以^レテ忠ヲ為^ニ子ノ主^一ノ計リ、以^ニテ其ノ余^一ヲ為^中ニス寡人^上ノ平ト。」

陳軫曰ク、「王独リ不^レ聞^ニカ呉人之^一ア遊^レベル楚^ニ者^一ヲ乎。楚王甚^ダ愛^レス之ヲ。病ム。故^ニ使^ニメテ人ヲシテ問^レハ之^ニ曰ク、『誠^ニ病メル乎。意^と亦思フ乎ト。』左右

曰ク、『臣不知其思与不思。誠^ニ思ハバ則チ將^トニ呉吟^一セント。』今軫將^ニ為^レニ王ノ

〔四〕 呉吟^一セント。

王不^レ聞^ニカ夫ノ管与之説^一ヲ乎。有^ニリ両虎争^レウテ人ヲ而闘^一フ。管莊子將^レニ刺^レサント之ヲ。管与止^レメテイ^之ヲ曰ク、『虎者^注兇^ニ蟲^{ナリ}。人者甘餌ナリ。今両虎争^レウテ人ヲ而闘^一フ。小ナル者ハ必ズ死シ、大ナル者ハ必ズ傷ツカン。子待^ニッ^テ傷虎^一ヲ而刺^レサバウ^之ヲ、則チ是^レ一挙シテ而兼^ニヌル両虎^一ヲ也。無^下クシテ刺^ニス一虎^一ヲ之^レ勞上、而有^下ラント刺^ニス両虎^一ヲ之名上。』齊楚今戦フ。戦ハバ必ズ敗レン。敗レバ、王起^レシテ兵ヲ救^レヘエ^之ヲ。有^ニッ^テ救^レフ齊^ヲ之^レ利^一、而無^ニケント伐^レッ^ニ楚^一之^レ害^一。」

「計聴^ニ知^ニル^注覆逆^一ヲ者ハ、唯^ダ王ノミ可也。計ナル者ハ、事之本也。聴ナル者ハ、存亡之機ナリ。計失シテ而聴過チ、能ク有^レッ^ニ国^一ヲ者ハ寡シ也。故^ニ曰ク、計^ニ有^ニル^一一^ニ者ハ難^レク悖^タセ、聴^ニ無^レキ失^ニスル本末^一ヲ者ハ難^レシト惑ハシ。」

(「戦国策」による。)

(注1) 陳軫 戦国時代の遊説家。

(注2) 不佞 才能のないこと。男性が自分をへりくだっている語。

(注3) 兇蟲 虎の異名。兇は食欲、蟲(虫)は動物の総称で、食欲な動物の意味。

(注4) 覆逆 先のことを予見すること。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち9)

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

問一 ア遊の本文中における意味と同じ意味の「遊」を含む熟語として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

- ① 遊牧 ② 遊戯 ③ 遊学 ④ 遊泳

問二 イ之、ウ之、エ之とありますが、それぞれの指し示すものの組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。

- ① イ王 ウ人 エ楚
② イ管荘子 ウ虎 エ斉
③ イ王 ウ虎 エ楚
④ イ管荘子 ウ人 エ斉

問三 a臣不知其思与不思を、「しんそのおもふとおもはざるとをしらず」と訓読する場合、「与」にどのような返り点を施せばよいですか。その返り点として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① 上 ② レ ③ 一 ④ ㄟ

問四 b呉吟とは「呉の歌を口ずさむ」という意味ですが、この場面で陳軫は具体的にどのようなことをしようとしているのですか。最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。解答番号13の解答欄にマークしなさい。

- ① 秦王の案に異を唱えること
② 秦王に献策をすること
③ 秦王の評判を吹聴すること
④ 秦王に呉の戦況を伝えること

問五 X王使_ニ陳軫_ヲ之_レカ秦_ニ、Y故_ニ子棄_テ寡人_一ヲ事_ニヘタリ楚王_ニの現代語訳を、それぞれ書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

問六 Z計失_{シテ}而聴_過テ、能_ク有_レツ国_ヲ者ハ寡_シ也とありますが、陳軫がこのように述べたのはなぜですか。秦王が陳軫に諮った内容に触れて書きなさい。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

受験番号

氏名

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

四

次に示す、平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 現代の国語 内容 [知識及び技能] について、あとの問一・二に答えなさい。

(2) 話や文章に含まれている情報の扱い方に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。

イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。

ウ 推論の仕方を理解し使うこと。

エ ☐ X について理解を深め使うこと。

オ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。

(3) 我が国の言語文化に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア ☐ Y 読書の意義と効用について理解を深めること。

問一

☐ X

に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。 解答番号14の解答欄にマークしなさい。

① 情報を重要度や抽象度によって階層化して整理する方法

② 情報の整理の仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方

③ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方

④ 情報と情報との関係の様々な表し方

問二

☐ Y

に当てはまる語句として最も適切なものを、次の①～④の中から選び、その番号を答えなさい。 解答番号15の解答欄にマークしなさい。

① 実社会との関わりを考えるための

② 我が国の言語文化への理解につながる

③ 新たな考えの構築に資する

④ 自分の思いや考えを伝える際の言語表現を豊かにする

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち11)

受験番号	氏名
------	----

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

【五】平成三十年三月告示の高等学校学習指導要領 国語 言語文化 内容 「思考力、判断力、表現力等」 B 読むこと (1) イには、「作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。」と示されています。あなたは、この指導事項に基づいた単元を設定しようとしています。次の表中の【目標】は、この指導事項に基づいて設定した「思考力、判断力、表現力等」の目標、【言語活動】は、【目標】を達成するための言語活動、【評価規準】は、この単元において設定した「思考・判断・表現」の観点に関する評価規準です。また、【単元の流れ】は、この単元の流れを示したもの、【ポイント】は、単元の流れにおいて指導する際のポイントとして設定した事項で、【教材】は、この単元で使用するものです。これらについて、あとの「問い」に答えなさい。

【目標】	作品に表れているものの見方や感じ方を捉え、内容を解釈することができる。
【言語活動】	【教材】を読み、漢詩についての解釈を論じる文章を書く。
【評価規準】	「読むこと」において、作品に表れているものの見方や感じ方を捉え、内容を解釈している。
【単元の流れ】	一次 単元の見通しをもち、教科書を用いて漢詩を読んで解釈の仕方を学び、【教材】の漢詩部分の解釈をし、論じる。 二次 【教材】の随筆部分を読み、一次の学習を生かして【教材】の漢詩の内容を再度解釈し、論じる。 三次 一次と二次で漢詩を解釈して論じたそれぞれの文章の比較を通して漢詩と随筆の内容を関連付けて解釈すること、【教材】に表れているものの見方や感じ方を捉え、気付きを発表する。
【ポイント】	○ 二次で【教材】の随筆部分を読み、漢詩の内容を解釈する際には、随筆に表れているものの見方や考え方が、漢詩にどのように表れているかを捉えるよう指導を行う。 ○ 二次で漢詩と随筆の内容を関連付けて解釈する際には、一次と二次で解釈した内容を関連付けた上で、【教材】全体に表れているものの見方や考え方について解釈するよう指導を行う。

【教材】 次の随筆と漢詩は、筆者が病に倒れ、療養しているときに書いたものです。

人は病むもののために裏の山に入って、此所彼所から手の届く幾茎の草花を折って来た。裏の山は余の室から廊下伝いにすぐ上る便のある位近かった。障子さえ明けて置けば、寝ながら縁側と欄間の間を埋める一部分を鼻の先に眺める事も出来た。その一部分は岩と草と、岩の裾を縫うて迂回して上る小径とから成り立っていた。余は余のために山に上るものの姿が、縁の高さを辞して欄間の高さに達するまでに、一遍影を隠して、また反対の位地から現われて、遂に余の視線の外に没してしまうのを大いなる変化の如くに眺めた。そうして同じ彼らの姿が再び欄間の上から曲折して下つて来るのを疎い眼で眺めた。彼らは必ず粗い綿の貸浴衣を着て、日の照る時は手拭で頬冠りをしていた。組道を行くべきものとも思われないその姿が、花を抱えて岩の傍にぬつと現われると、一種芝居にでもありそうな感じを病人に与える位釣合が可笑しかった。

彼らの採って来てくれるものは色彩の極めて乏しい野生の秋草であつた。或日しんとした真昼に、長い薄が畳に伏さるように活けてあつたら、何時何処から来たとも知れない蟋蟀がたった一つ、大人しく中ほどに宿っていた。その時薄は虫の重みで撓いそうに見えた。そうして袋戸に張った新しい銀の上に映る幾分か緑が、暈したように淡くかつ不分明に、眸を誘うので、なお更運動の感覚を刺激した。

薄は大概すぐ縮れた。比較的長く持つ女郎花さえ眺めるには余り色素が足りなかった。漸く秋草の淋しさを物憂く思い出した時、始めて蜀紅葵とかいう燃えるような赤い花卉を見た。留守居の婆さんに銭を遣つて、もつと折らせろといったら、銭は要りません、花は預かり物だから上げられませんがと断つたそうである。余はその話を聞いて、どんな所に花が咲いていて、どんな婆さんがどんな顔をして花の番をしているか、見たくて堪らなかった。蜀紅葵の花卉は燃えながら、翌日散ってしまった。

高等学校 国語科 問題用紙

(12枚のうち12)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

桂川の岸伝いに行くといくらでも咲いているというコスモスも時々病室を照らした。コスモスは凡ての中で最も単簡でかつ長く持った。余はその薄くて規則正しい花片と、空に浮んだように超然と取り合わぬ咲き具合とを見て、コスモスは干菓子に似ていると評した。何故ですかと聞いたものがあつた。範頼の墓守の作つたという菊を分けてもらつて来たのはそれからよほど後の事である。墓守は鉢に植えた菊を貸して上げようかといったそうである。この墓守の顔も見なかった。しまいには畠山の城趾からあけびというものを取つて来て瓶に挿^はんだ。それは色の褪めた茄子の色をしていた。そうしてその一つを鳥が啄^ついて空洞^{くうどう}にしていた。――瓶に挿す草と花が次第に変わるうちに気節は漸く深い秋に入った。

日 似 三 春 永 日は三春に似て永く

心 随 野 水 空 心は野水に随つて空し

床 頭 花 一 片 床頭 花一片

閑 落 小 眠 中 閑に落つ小眠の中

(夏目漱石 「思い出す事など」 による。)

【問い】 あなたは、この単元の【単元の流れ】に示す【二次】において、「【教材】の随筆部分を読み、【教材】の漢詩の内容を解釈し、論じる文章を書く」ということを学習課題として設定して、【ポイント】を踏まえた指導をしようとしています。【二次】において、生徒が、【教材】を読み、漢詩の内容を解釈して論じた文章として、「おおむね満足できる」状況(B)を満たす文章を具体的に想定して書きなさい。なお、文章を書く際には、【教材】の随筆及び漢詩の中から根拠を挙げることとします。答えは記述式解答用紙に書きなさい。

氏名

⑧ 高等学校 国語科 マーク式解答用紙

受験番号

0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

〔記入上の注意〕

1. 余白には何も記入しないでください。
2. HBまたはBの鉛筆で該当する○にマークしてください。
マーク例 《良い例》 ●
《悪い例》 ✓ / ✕
3. 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
4. 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する○にマークしてください。

一

解答番号	解答欄
1	① ② ③ ④ ⑤
2	① ② ③ ④ ⑤
3	① ② ③ ④ ⑤
4	① ② ③ ④ ⑤
5	① ② ③ ④ ⑤

二

解答番号	解答欄
6	① ② ③ ④ ⑤
7	① ② ③ ④ ⑤
8	① ② ③ ④ ⑤
9	① ② ③ ④ ⑤

三

解答番号	解答欄
10	① ② ③ ④ ⑤
11	① ② ③ ④ ⑤
12	① ② ③ ④ ⑤
13	① ② ③ ④ ⑤

四

解答番号	解答欄
14	① ② ③ ④ ⑤
15	① ② ③ ④ ⑤

8

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち1)

受験番号	
氏名	

問題番号										解答欄									
問一～五は、マーク式解答用紙に記入すること。																			
問六					問七					問八									
問九																			
㊦																			
㊧																			
㊨																			
㊩																			
㊪																			

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち2)

受験番号

氏名

問題番号

解答欄

問一～四は、マーク式解答用紙に記入すること。

二			
問七	問六		問五
			B A

問題番号

解答欄

問一～四は、マーク式解答用紙に記入すること。

三		
問六	問五	
	Y	X

四は、マーク式解答用紙に記入すること。

8

高等学校 国語科 記述式解答用紙

(3枚のうち3)

受験番号

氏名

問題番号

解答欄

五

高等学校国語科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	採 点 上 の 注 意	配 点
問一	2		3
問二	1		3
問三	4		3
問四	3		4
問五	2		6
問六	くどくど説明する必要がなく、要点だけをかいつまんで述べるだけで誤解も生じず、お互いが熟知し合った集団の内部においては敬遠されるような表現の代表的な例。(75字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
問七	海綿状に発達した言語においては、受け手に強い連想作用が具わっており、軽く間接的で象徴的な表現がよく利くため、直接的でつよい表現は受け手に重苦しいものとして感じられてしまうから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
問八	筆者の述べる「あいまいな表現で伝える論理」とは、親密な者同士の伝達で用いられる点的論理であり、言葉の連想領域が大きく語義が広範囲に及ぶ上に、潜在する論理が下敷きとなっているため、話の筋道が明白でなく解釈の余地が大きく、間接的な表現が効果的であり、表現の余韻や含蓄などが重視される論理である。 この筆者の主張を踏まえると、【資料】の俳句における、「彼一語我一語」と「秋深みかも」という一見無関係と思われる語句を組み合わせることで秋の静寂な情景を連想させることに、筆者の述べる「あいまいな表現で伝える論理」が隠れていると考える。たとえば、【資料】には「「彼」と「我」がそれぞれ発した「一語」がどういう言葉だったのかも、わからない」「言うに言われぬ時が流れて、二人の男も、発した言葉も、深い秋のまっただなかにある」とある。俳句には、「一語」の内容も秋の深まりを感じた理由も示されていない。しかし、読者は二人の男も、発した言葉も、深い秋のまっただなかにあるという情景を思い浮かべることができる。これは、「一語」がきっかけとなり秋の深まりを実感していると推測できるとともに、「一語」の森閑とした響きから秋の静寂さを連想できるからである。これらについて、【資料】には「それゆえにこの句の世界は成り立っているという逆説的な性格がこの句にはある」とある。 これは、筆者の述べる「あいまいな表現で伝える論理は複線で、また、いたるところで点線状になっている」「点的論理の視点からすればきわめて興味あるものになる」という主張に当てはまると考えられる。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	20
問九	㉞ こうなん ㉟ 摩擦 ㊱ 媒介 ㊲ やば ㊳ かん	語として採点する。	各2×5

高等学校国語科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答	採 点 上 の 注 意	配 点
二	問一 3		3
	問二 4		3
	問三 1		3
	問四 2、5	二つとも合っているものだけを正答とする。	4
	問五 A 私一人であるならば、気も楽であろうに B 仏も不憫に思ってお聞き届けくださっただろうよ	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
	問六 東国に下った父親が今どのあたりにいるのだろうかということ。(29字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
	問七 娘を遠い京に残して東国に来ている中、風光明媚な場所に出会い、娘に見せてやれないことを残念だと思っていると、そこが「子しのびの森」と呼ばれていることを知り、「子しのびの森」と、娘が気がかりである今の自分が同じであると思ったから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
三	問一 3		3
	問二 2		3
	問三 4		3
	問四 2		3
	問五 X 王は陳軫を秦に行かせた Y そのため、あなたは私を見捨てて楚王に仕えてしまった	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
	問六 斉と楚とが争う中で戦いに加わるかどうかを陳軫に諮った秦王に対し、陳軫は楚の国を討つことは得策ではないという提案を行い、国を持続させるためには、王として計略を立て、献策に耳を傾ける姿勢が重要であると説き、秦王の依頼に応えるとともに、楚の国を守ろうと考えたから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	12
四	問一 3		6
	問二 1		6

高等学校国語科採点基準

3枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
五	この随筆と漢詩とを合わせて読むことにより、筆者の心情を具体的に解釈することができる。 たとえば、漢詩の「日は三春に似て永く」「心は野水に随って空し」という二句は、随筆から読み取れる病床にある筆者の様子を踏まえて読むことで、筆者の病による憂鬱な心情を表現していると解釈できる。随筆に書かれている、「秋草の淋しさを物憂く思い出した」という心情表現や、「野生の秋草」や「蜀江葵」、「薄」「女郎花」「コスモス」などの草花に関する「色彩の極めて乏しい」「色素が足りなかった」「色の褪めた茄子の色」といった、植物の枯れた色合いを示す表現と、漢詩の「床頭花一片」「閑に落つ小眠の中」の二句とを関連付けることで、筆者が、病床で寂寥感や深い孤独を感じていることが伺える。また、花に関する描写には比喻表現が多用されており、筆者が病床において植物を詳細に観察している様子とともに、植物が病の不安を慰める存在であったことを読み取ることができる。 さらに、漢詩の「空し」や「閑に落つ」という表現と、随筆の「或日しんとした真昼」に窓から見える景色の描写、「縮れた」「散ってしまった」という植物の枯れていく様子が繰り返し表現されていることを合わせて解釈することで、病気であるが故に、植物の衰えていく様子に敏感になっている筆者の状況が分かり、その敏感になっている筆者の姿から、将来を憂慮する筆者の心情が想起され、漢詩の「空し」い気持ちを具体的に感じ取ることができると考えられる。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	50